

Embedded Technology 2013(ET2013) 出展報告

SEC 企画グループ

荒川 明夫

IPA/SEC は、2013 年 11 月 20 日から 22 日にかけてパシフィコ横浜で開催された Embedded Technology 2013 (ET2013) に出展した。同会場内アネックスホールでは、ET2013 の主催者である一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) と共催し、IPA セミナーを実施した。

1. 展示会概要

Embedded Technology (ET) とは、一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) が主催する組込みシステム技術に特化した専門展であり、組込みシステム開発にかかわる技術者や開発者向けに最新技術などの情報を発信している。

2. 出展概要

IPA/SEC では、事業成果の普及・啓発を目的として、2004 年より本展示会に出展している。本年は、「基盤技術が支える高信頼・安全/安心・セキュリティ」というコンセプトを掲げ、ソフトウェア・エンジニアリング関連の事業成果を更に普及・啓発するとともに信頼性の高いソフトウェアを開発するための取り組みについても紹介した。関連する事業のパネル展示やデモの実施に加えて、ブースプレゼンを行い、IPA 職員や SEC 連携委員、地域連携団体・組織からの発表を実施した。

3. IPA ブース

展示では、以下のコーナーを設置し、該当する事業成果のパネル展示や関連資料の配布を行った。

- ・ 高信頼化
- ・ 安全/安心
- ・ セキュリティ
- ・ 基盤技術
- ・ 地域団体との連携

【高信頼化コーナー】では、SEC の事業紹介をはじめ、形式手法・モデルベース開発・データ白書など信頼性の高いソフトウェア開発の参考になる情報を展示した。

【安全/安心コーナー】では、2013 年 6 月に CSAJ と共同記者発表を行った「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」の紹介のほか、PSQ 認証やコンシューマデバイス、第三者がソフトウェア品質を確認するための制度の提案など、SEC の取り組みの紹介を行い、多くの来場者からの質問に、IPA 職員が回答する場面が見られた。

【セキュリティコーナー】では、IPA/セキュリティセンターで取り組んでいるファジング、自動車の情報セキュリティ、制御関連のセキュリティに関するパネルや関連資料、動画を展示した。

【基盤技術コーナー】では、組込み関連の事業成果を主軸とし、ソフトウェア・エンジニアリングに関する展示のみならず、IPA/情報処理技術者試験センターで実施している iパス (IT パスポート試験) の紹介を行い、興味を寄せる来場者が多く見られた。

【地域団体との連携コーナー】では、SEC が連携を実施している全国各地の業界団体の事業を紹介した。来場者からは個別の団体についての質問をいただいたり資料を求められるなど、多くの来場者からの関心を寄せられた。

また、IPA ブース内でブースプレゼンを実施した。20 分間のショートプレゼンテーションで、IPA/SEC の事業成果をはじめ、IPA/セキュリティセンターや SEC と連携している地域団体・組織からの発表もあり、3 日間で計 39 セッションを実施した。

4. IPA セミナー

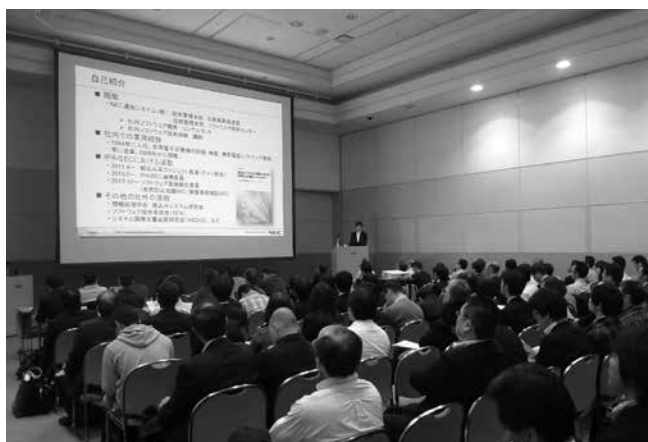
展示会場に隣接されたアネックスホールで、11月21日、22日の2日間、開催した。



1日目は「ソフトウェア高信頼性への道程」をテーマに、利用者視点でのソフトウェア信頼性に見える化、モデルベースシステムズエンジニアリングの解説、組込みシステムセキュリティ、形式手法適用による品質確保などについての講演を行った。

2日目は、「重要インフラシステム障害への取り組み」がテーマであり、重要インフラシステム障害対策に関するIPA/SECの取り組み、組込み製品の信頼性・安全性向上への取り組み、組込みソフトウェア信頼性向上のためのテスト事例、生産性・品質向上への取り組みなどについて、対策や事例の紹介を行った。

両日とも、午前に基調講演、午後はテクニカルセッションというかたちで、計8セッションを実施し、延べ700名の方にご参加いただいた。



5. 記者発表

ET開催初日の20日には、「日本のモノづくり技術を

国際標準提案へ」と題し、下記2つのテーマについてET2013の会場で先行発表を行った。

- ・日本のすり合わせ開発と融和性の高い開発方法論の国際規格を提案
～高信頼なコンシューマデバイスを効率的に開発～
- ・組込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド（ESCR）を改訂
～C言語規格C99に準拠し、最新版MISRA Cに対応する～

これらの内容については、IPAブース内展示コーナーで該当パネルを設置し、ブースプレゼンも実施した。



6. 今後の展示会出展に向けて

今回のETは、全体来場者が昨年実績を下回る厳しい状況ではあったが、IPAブース・IPAセミナーの来場者は、昨年実績を1割以上、上回る結果となった。

展示会場での記者発表やSECの事業内容をアニメーションにした幕間を映写するなど、展示会に向けて新たな試みを実行し、成果に結びついた。事業成果普及対象者の方や関係者の方から、直接フィードバックやご意見をいただけることは展示会の醍醐味であり、出展する意義だろう。2014年7月には、大阪でET-WEST2014が開催され、IPA/SECも出展を予定している。この展示会では、今回記者発表を行ったESCR改訂版（書籍）の提供や高信頼に関する様々な事業の進捗や成果を紹介する。

ET2013 IPA/SEC ウェブサイト

<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20131120.html>

- ・IPAセミナー・IPAブースプレゼンの講演資料がダウンロードできます。
- ・IPAセミナーの動画を公開しています。